



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月11日

上場会社名 ユニプレス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5949 URL https://www.unipres.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役 社長執行役員 (氏名)浦西 信哉
 問合せ先責任者 (役職名)経理部長 (氏名)斉藤 直樹 (TEL) (045) 470-8631
 四半期報告書提出予定日 2020年11月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	88,000	△40.8	△15,298	—	△14,867	—	△13,789	—
2020年3月期第2四半期	148,695	△8.8	3,933	△59.6	3,746	△62.7	1,306	△78.3

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 △24,357百万円 (—%) 2020年3月期第2四半期 1,214百万円 (△66.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	△306.63	—
2020年3月期第2四半期	28.09	28.08

(注) 2020年3月期第3四半期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2020年3月期第2四半期の数値について、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	274,310	124,779	41.5
2020年3月期	281,194	151,325	48.7

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期113,816百万円 2020年3月期136,854百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	27.50	—	27.50	55.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	238,000	△19.5	△7,500	—	△7,500	—	△11,000	—	—	△244.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期2Q	47,991,873株	2020年3月期	47,991,873株
2021年3月期2Q	3,020,420株	2020年3月期	3,020,420株
2021年3月期2Q	44,971,453株	2020年3月期2Q	46,503,998株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいておりその達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、〔添付資料〕3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」の「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10
(企業結合等関係)	11
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高につきましては、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大による得意先の減産に伴う操業度の低下や工場の生産停止、為替影響等により880億円（前年同期比606億円減、40.8%減）の大幅な減収となりました。営業利益につきましては、売上高の大幅な減少により固定費の回収ができなかったこと等の要因により、152億円の損失（前年同期は39億円の利益）となり、経常利益は148億円の損失（前年同期は37億円の利益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は137億円の損失（前年同期は13億円の利益）となりました。

なお、足元の生産状況につきましては、各国において工場の稼働が再開しており、特に中国において生産活動がいち早く正常化する等、当社グループの生産状況は徐々に新型コロナウイルス感染拡大の影響から脱しつつあります。また、翌連結会計年度以降は各地域において新車部品立上げが相次いで計画されており、当社グループの受注及び販売状況の回復が見込まれております。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 日本

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う得意先の減産影響等により、売上高は282億円（前年同期比157億円減、35.8%減）となり、セグメント損失（営業損失）は新車部品立上げ準備費用等の負担等もあり96億円（前年同期は1億円の利益）となりました。

② 米州

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う得意先の減産影響や政府の外出禁止・移動制限措置に伴う工場の生産停止及び為替影響等により、売上高は236億円（前年同期比230億円減、49.4%減）となり、セグメント損失は32億円（前年同期は9億円の利益）となりました。

③ 欧州

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う得意先の減産影響及び為替影響等により、売上高は89億円（前年同期比76億円減、46.1%減）となり、セグメント損失は26億円（前年同期は6億円の損失）となりました。

④ アジア

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う得意先の減産影響や政府の外出禁止・移動制限措置に伴う工場の生産停止及び為替影響等により、売上高は271億円（前年同期比142億円減、34.4%減）となり、セグメント損失は1千万円（前年同期は36億円の利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び預金が55億円、受取手形及び売掛金が14億円それぞれ減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ68億円減の2,743億円となりました。

負債につきましては、支払手形及び買掛金が29億円減少したものの、長短借入金が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ196億円増の1,495億円となりました。

純資産につきましては、親会社株主に帰属する四半期純損失を計上したこと及び配当金の支払いにより利益剰余金が150億円減少したことに加えて、為替換算調整勘定が89億円、非支配株主持分が35億円それぞれ減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ265億円減の1,247億円となりました。自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ7.2ポイントマイナスの41.5%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純損失を計上したことに加え、仕入債務の減少等により91億円の支出（前年同期比80億円の支出増）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、設備投資額の減少等により146億円の支出（前年同期比45億円の支出減）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期は自己株式の取得があったことに加え、短期借入金による資金調達の結果、221億円の収入（前年同期比144億円の収入増）となりました。

これらに為替変動の影響を加えた結果、現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ33億円減の206億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、概ね予想の範囲内で推移していることから、2020年8月6日に公表いたしました予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,115	20,609
受取手形及び売掛金	33,859	32,359
たな卸資産	38,740	39,348
その他	14,895	17,011
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	113,610	109,328
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	34,264	33,281
機械装置及び運搬具（純額）	63,961	56,654
土地	7,481	7,374
建設仮勘定	24,140	32,126
その他（純額）	15,546	15,430
有形固定資産合計	145,394	144,868
無形固定資産	5,009	4,732
投資その他の資産		
投資有価証券	6,548	5,652
その他	10,640	9,738
貸倒引当金	△9	△9
投資その他の資産合計	17,180	15,381
固定資産合計	167,584	164,981
資産合計	281,194	274,310
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,836	25,934
電子記録債務	5,763	2,835
短期借入金	45,571	70,919
未払法人税等	6,897	6,473
賞与引当金	2,648	2,354
その他の引当金	84	46
その他	19,780	23,028
流動負債合計	109,583	131,591
固定負債		
長期借入金	1,037	388
関係会社整理損失引当金	1,624	1,641
その他の引当金	154	134
退職給付に係る負債	8,759	7,848
その他	8,710	7,925
固定負債合計	20,285	17,938
負債合計	129,869	149,530

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,168	10,168
資本剰余金	13,498	13,498
利益剰余金	135,057	120,030
自己株式	△5,023	△5,023
株主資本合計	153,701	138,674
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△27	42
為替換算調整勘定	△8,855	△17,848
退職給付に係る調整累計額	△7,963	△7,051
その他の包括利益累計額合計	△16,846	△24,857
非支配株主持分	14,470	10,962
純資産合計	151,325	124,779
負債純資産合計	281,194	274,310

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	148,695	88,000
売上原価	131,593	92,062
売上総利益又は売上総損失(△)	17,102	△4,062
販売費及び一般管理費	13,169	11,236
営業利益又は営業損失(△)	3,933	△15,298
営業外収益		
受取利息	496	319
受取配当金	57	19
受取賃貸料	182	229
補助金収入	45	1,388
その他	121	89
営業外収益合計	903	2,045
営業外費用		
支払利息	285	285
貸与資産減価償却費	140	182
為替差損	474	287
持分法による投資損失	93	539
その他	96	319
営業外費用合計	1,090	1,614
経常利益又は経常損失(△)	3,746	△14,867
特別利益		
固定資産売却益	18	23
新株予約権戻入益	8	—
段階取得に係る差益	1,210	—
特別利益合計	1,237	23
特別損失		
固定資産処分損	129	77
特別損失合計	129	77
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	4,854	△14,921
法人税等	△1,693	△990
過年度法人税等	3,151	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	3,397	△13,930
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	2,091	△140
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	1,306	△13,789

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	3,397	△13,930
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△236	50
為替換算調整勘定	△2,293	△11,048
退職給付に係る調整額	374	911
持分法適用会社に対する持分相当額	△26	△340
その他の包括利益合計	△2,182	△10,427
四半期包括利益	1,214	△24,357
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△804	△21,800
非支配株主に係る四半期包括利益	2,019	△2,557

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	4,854	△14,921
減価償却費	9,458	10,007
賞与引当金の増減額(△は減少)	△471	△256
受取利息及び受取配当金	△554	△338
支払利息	285	285
持分法による投資損益(△は益)	93	539
段階取得に係る差損益(△は益)	△1,210	—
固定資産処分損益(△は益)	110	53
売上債権の増減額(△は増加)	△1,184	104
たな卸資産の増減額(△は増加)	△6,035	△2,750
仕入債務の増減額(△は減少)	766	△4,254
未払金の増減額(△は減少)	△2,488	578
その他	△2,157	2,493
小計	1,466	△8,457
利息及び配当金の受取額	566	354
利息の支払額	△285	△285
法人税等の支払額	△2,863	△786
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,115	△9,175
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	373	2,083
有形固定資産の取得による支出	△18,727	△16,488
有形固定資産の売却による収入	70	187
無形固定資産の取得による支出	△217	△125
関係会社株式の取得による支出	△452	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△292	—
関係会社貸付けによる支出	—	△497
その他	30	156
投資活動によるキャッシュ・フロー	△19,216	△14,684
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	15,539	25,361
長期借入金の返済による支出	△274	△341
リース債務の返済による支出	△662	△717
株式の発行による収入	48	—
自己株式の取得による支出	△5,000	—
配当金の支払額	△1,318	△1,237
非支配株主への配当金の支払額	△667	△950
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,664	22,114
現金及び現金同等物に係る換算差額	△59	△1,628
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△12,726	△3,374
現金及び現金同等物の期首残高	28,442	23,983
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,715	20,609

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等、更にはそれによる当社グループの業績への影響を見通すことは、現時点において困難であります。そのため当社グループでは、前事業年度末において足元の販売状況を勘案し、2021年3月期の上期は売上が半減する状況から回復に向かい、下期から正常化に向かって行く等の一定の仮定において、固定資産の減損や繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積もりを行っております。当該仮定に重要な変更は行っておりません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	日本	米州	欧州	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	43,966	46,721	16,622	41,385	148,695	—	148,695
セグメント間の内部売上 高又は振替高	9,651	199	30	1,007	10,888	△10,888	—
計	53,617	46,921	16,652	42,392	159,584	△10,888	148,695
セグメント利益又は損失 (△)	145	940	△685	3,600	4,000	△67	3,933

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△67百万円は、のれんの償却額△31百万円及びセグメント間取引消去△36百万円でありま

す。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、「注記事項(企業結合等関係)」に記載の暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直し反映された後の金額によっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「欧州」セグメントにおいて、持分法適用関連会社であったユーエムコーポレーションの株式を追加取得して連結の範囲に含めたことにより、のれんが発生しております。当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては1,449百万円であります。

なお、のれんの金額は、暫定的な会計処理の確定に伴う見直し反映後の金額であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	日本	米州	欧州	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	28,246	23,633	8,967	27,152	88,000	—	88,000
セグメント間の内部売上 高又は振替高	6,899	6	—	402	7,308	△7,308	—
計	35,146	23,640	8,967	27,555	95,308	△7,308	88,000
セグメント利益又は損失 (△)	△9,684	△3,290	△2,617	△10	△15,602	303	△15,298

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額303百万円は、のれんの償却額△60百万円及びセグメント間取引消去363百万円でありま

す。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(企業結合等関係)

(比較情報における取得原価の当初配分額の重要な見直し)

2019年6月15日に行われたユーエムコーポレーションとの企業結合について、前第1四半期連結会計期間において暫定的な会計処理を行っていましたが、前第3四半期連結会計期間に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、当第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額に重要な見直しが反映されております。この結果、前第2四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書は、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益が14百万円、四半期純利益が9百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益が3百万円、それぞれ減少しております。

(重要な後発事象)

(社債の発行)

当社は、2020年11月11日の取締役会において、国内無担保普通社債の発行について決議いたしました。概要は以下のとおりです。

- | | |
|------------|--------------------------|
| (1) 社債の種類 | 国内無担保普通社債 |
| (2) 発行総額 | 100億円以下 |
| (3) 各社債の金額 | 1億円 |
| (4) 社債の年限 | 5年以下 |
| (5) 償還の方法 | 満期一括償還 |
| (6) 払込金額 | 各社債の金額100円につき金100円以上 |
| (7) 償還金額 | 各社債の金額100円につき金100円 |
| (8) 発行時期 | 2020年12月1日から2021年3月31日まで |
| (9) 資金用途 | 設備投資資金、投融資資金及び借入金返済資金 |

なお、具体的な発行総額、利率、発行日等につきましては、今後決定いたします。